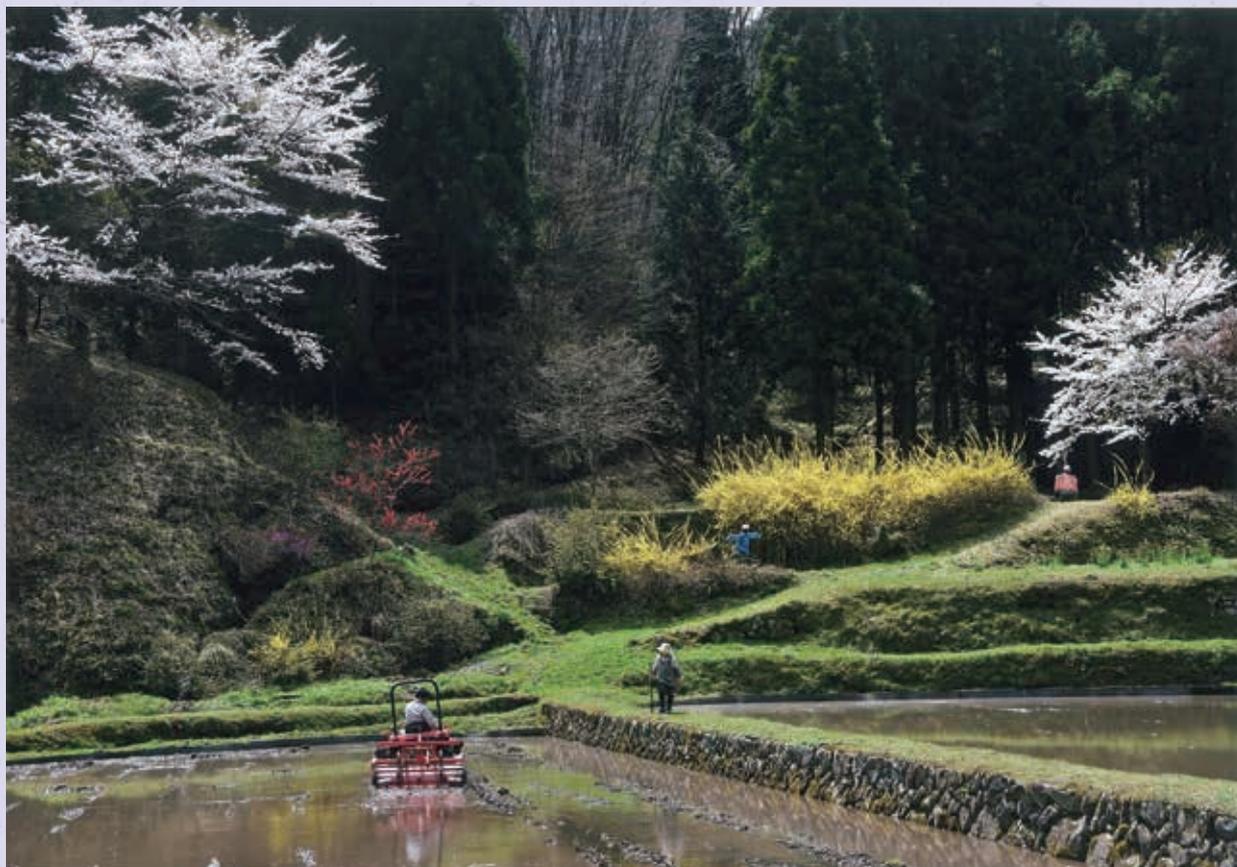


# ひろしまの 土地改良



2020年 第259号



第18回ひろしまの農村フォトコンテスト 最優秀賞  
「桜咲くころ」 源田 和彦(撮影場所：北広島町)

## ●「広島県農業農村整備事業推進協議会先進地調査」を開催

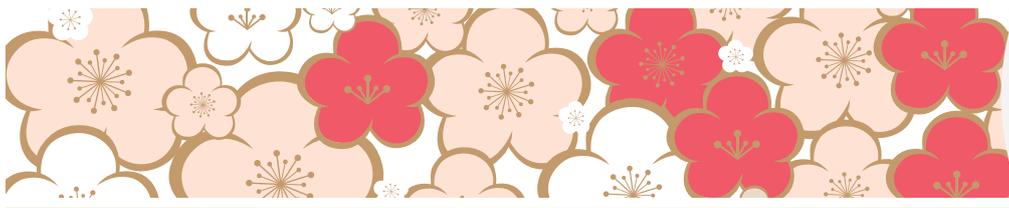
広島県農業農村整備事業推進協議会では、令和元年11月26日・27日に兵庫県明石市と神戸市で、楽農生活とため池の保全の先進地調査を行いました。

農業体験や農山漁村との交流をとおして、食や農に親しむ新しいライフスタイルの楽農生活の体験や実践ができる施設、兵庫楽農生活センターの設立や事業内容について。明石市が取り組むため池保全等に関する推進方針や基本方針、釜谷池ため池協議会が実践している活動内容について。兵庫県土連の方からは、ため池保全サポートセンターの設立経緯や支援内容について。それぞれ、お話を聞きながら意見交換を行いました。

兵庫県の農やため池保全に関する考え方や取り組み内容について、県民や地元関係団体等に広く普及啓発が行われており、行政と地域や住民が一体となった推進や保全活動等、優良な先進地調査をする事ができました。



# 新年のごあいさつ



みどり  
水土里ネットひろしま  
広島県土地改良事業団体連合会  
会長 木山耕三

明けましておめでとうございます。

会員並びに関係者の皆様には、日頃より農業農村整備事業の円滑な推進、並びに本会の運営につきまして、格別なご理解とご支援を賜り心より厚くお礼申し上げます。

昨年も台風をはじめとした自然災害に見舞われ、全国各地で広範囲に甚大な被害をもたらしました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧復興を心よりお祈り申し上げます。

一方、広島県内でも西日本豪雨により被災した農地や農業用施設は、未だ復旧への取組みが十分に進んでいない状況です。一刻も早い復旧・復興と合わせ、防災・減災対策や国土強靱化に向けた農業農村整備事業の推進に取り組んでいく必要があります。

長年培ってきた技術と経験を最大限に活かして、本会が果たすべき役割と使命を全うし、役職員一丸となって農業の持続的発展と農村の振興に取り組んで参ります。

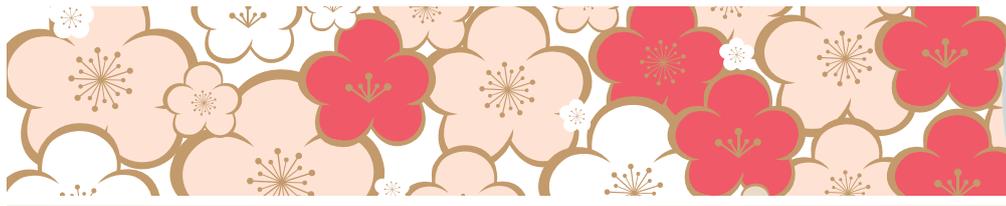
本年も一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、皆様のご発展とご健勝をお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

## 謹んで新春のお慶びを申し上げます。

令和二年元旦 他職員一同	監事	代表 監事	理事	副 常務 理事	副 会長	副 会長	会 長						
	久川	小坂	明岳	高田	平谷	入江	枝廣	箕野	吉田	岩崎	浜田	奥田	木山
	廣昭	眞治	周作	幸典	祐宏	嘉則	直幹	博司	隆行	常雄	一義	正和	耕三

広島県土地改良事業  
団体連合会  
(水土里ネットひろしま)

# 新年のごあいさつ



広島県農林水産局長

うえ なか たか まさ  
上 仲 孝 昌

令和最初の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

昨年、平成から令和という新しい時代を迎え、本県に甚大な被害をもたらした平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興を加速化させた年でございました。まずは、農業・農村地域の復旧・復興に御尽力いただいている皆様方に対しまして、改めて敬意を表しますとともに深く感謝申し上げます。

さて、本県の農業・農村における喫緊の課題は、農地・農業用施設災害復旧工事の早期完成でありますが、対象箇所が多い市町においては、設計などに時間を要していることから、県は国の職員とともに市町へ赴き、設計事業者の確保や審査の迅速化などの支援をまいりました。しかし、こうした地域では、例年になく多くの工事が同時に発注され、入札時に不調や不落が発生するなどの課題も生じてきていることから、県といたしましても、引き続き、工事の発注が進みやすくなるよう、市町を支援してまいります。

また、ため池の防災・減災対策につきましても、県では浸水想定区域図の作成と公表を進め、住民の皆様との迅速な避難行動につなげるとともに、地域からの要望を踏まえつつ、農業用水として利用するため池の補強工事と利用しなくなったため池の統合・廃止を進めているところでございます。

さらには、「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」に基づく、ため池所有者等による届出につきましても、市町の皆様と連携して積極的な働きかけを行うことにより、昨年末までに数多くの届出書が提出されました。しかし、まだ未届となっているものもあることから、今後も市町の皆様の協力のもと、所有者等の探索や届出書の提出に向けた働きかけを行い、ため池の利用や管理の実態把握に努めていくことも必要となってまいります。引き続き、こうした災害からの復旧と防災・減災対策の取組を皆様と共に進め、農村地域の安全・安心を確保してまいります。

一方で、こうした安全・安心確保の対策と並行して、将来にわたり農業生産が持続的に行われていくためには、意欲ある担い手へ農地を集積し、収益性の高い作物を導入していくことが重要であることから、これまでも、それらに必要となる農地整備や農業用水の確保・保全などにも取り組んでまいりました。しかし、今後、国全体で人口減少が進行し、様々な産業分野で労働力不足が懸念されていることから、経営力の高い担い手がICTやロボット技術などを有効に活用したスマート農業を展開していくことも重要であり、こうした環境変化に対応できる新たな農業基盤の整備も必要となってまいります。

県としましても、皆様方と連携し、時代に即した農業農村整備事業を総合的に推進していくことにより、広島県の農業・農村地域の発展を図ってまいりたいと考えておりますので、引き続き、御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

終わりにになりましたが、皆様方の今後ますますの御健勝と御活躍を祈念いたしまして新年の御挨拶といたします。

令和2年1月



# 第18回「ひろしまの農村フォトコンテスト」



## 入賞作品 決定!

第18回ひろしまの農村フォトコンテストの審査会が12月11日(水)に開かれ、応募総数213点から厳正なる審査により入賞3点、審査委員特別賞3点及び広報委員会特別賞15点として21点が選ばれました。

自然豊かな農村風景、四季を楽しむイベントなど、応募者がそれぞれの視点で撮影した素晴らしい農村写真が出揃いました。

なお、入賞作品は令和2年5月1日～5月13日の期間において展示を予定しています。【広島市まちづくり市民交流プラザ(広島市中区袋町6番36号)】



審査の様子



入賞作品の講評

## 入賞作品 ※最優秀賞は表紙に掲載

### 優秀賞



「やさしく受けて」 島田 克 (撮影場所: 世羅町)



「青一色の世界へ」 渡辺 晴芳 (撮影場所: 世羅町)

### 審査委員特別賞



「山里の朝焼け」 大森 富美男  
(撮影場所: 東広島市黒瀬町)



「熱演」 盆子原 政司  
(撮影場所: 北広島町)



「実りの秋」 別祖 一義  
(撮影場所: 竹原市)

# 広報委員会特別賞



「防蛾灯」 大石 正臣  
(撮影場所：世羅町)



「実りの秋」 森平 康則  
(撮影場所：世羅町)

「初めての田植え」 佐々木 康夫  
(撮影場所：三次市三和町)



「収穫を終えて」 谷水 毅  
(撮影場所：竹原市)



「畦道を行く」 奥本 泰久  
(撮影場所：北広島町)



「秋空のソバの里」 大島 寛  
(撮影場所：庄原市)



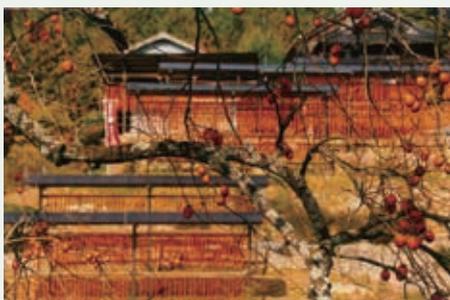
「秋祭の日」 妙田 俊二  
(撮影場所：三次市布野町)



「青春爆発」 加島 武  
(撮影場所：世羅町)



「壬生の初夏」 渋田 和彦  
(撮影場所：北広島町)



「干し柿の里」 安保 道子  
(撮影場所：尾道市御調町)



「柑橘の花が咲く頃」 梶谷 浩  
(撮影場所：東広島市安芸津町)



「朝霧と防蛾灯」 藤原 敏明  
(撮影場所：世羅町)



「おーい田んぼアート!」 荒川 ゆうじ  
(撮影場所：安芸高田市)



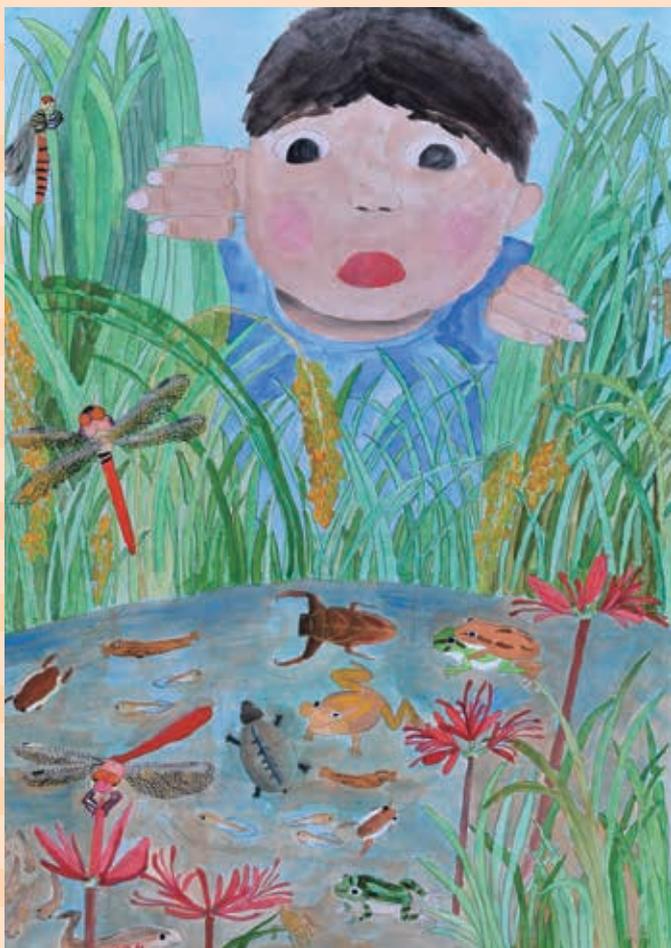
「フルーツロードの暮色」 荒川 洋子  
(撮影場所：世羅町)



「夏を見つけに」 佐々木 陽介  
(撮影場所：庄原市)

※入賞作品は、HPに掲載しています。 <http://www.hdn.or.jp/>

# 「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2019



環境大臣賞

「ふる里の友達」  
三谷 真琴 (福山市立多治米小学校)

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2019に全国各地から5,224点の作品が寄せられ、入賞24点、地域団体賞45点、入選129点が決定しました。広島県からは、入賞1点、地域団体賞3点、入選14点が選ばれました。



水土里ネット福山 優秀賞

「大山大献灯～和傘灯り～」  
池口 宗太朗 (福山市立新涯小学校)



水土里ネット福山 くawaii賞

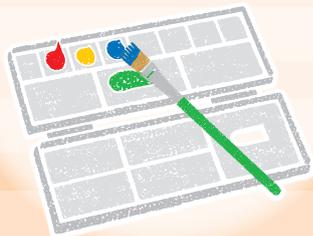
「くわいを植える」  
楠田 裕徠 (福山市立川口小学校)



水土里ネット祇園 八木用水賞

「たんぼと、わたしと、ぼく」  
崎森 利美果 (広島市立八木小学校)

# 入 選



「かたつむりの大行進」  
近藤 杏奈  
(福山市三光学園神辺千鶴幼稚園)



「ザリガニさんとおしゃべり」  
高橋 咲衣奈  
(福山市三光学園神辺千鶴幼稚園)



「魚を捕まえる名人!! タガメさん!!」  
小林 東悟  
(福山市三光学園神辺千鶴幼稚園)



「げろげろがえるとぼくのたうえ」  
吉良 伊織  
(福山市学校法人杉原学園松永幼稚園)



「たうえ」  
妹尾 慎朔  
(福山市学校法人杉原学園松永幼稚園)



「すすくそだってね いねさん」  
中尾 彩希  
(福山市学校法人杉原学園松永幼稚園)



「田植え」  
岡田 率輝  
(福山市学校法人杉原学園松永幼稚園)



「田男くん」  
佐藤 優輝  
(福山市学校法人杉原学園松永幼稚園)



「みんなとなかよく」  
倉田 芽衣  
(福山市学校法人杉原学園松永幼稚園)



「犬のさんばみち」  
岡本 朝陽  
(福山市立新涯小学校)



「田んぼの絵」  
池田 柊真  
(福山市立新涯小学校)



「田んぼのヒーロー ヘリコプター」  
片島 充  
(東広島市立豊栄小学校)



「水色の水門と元気に育つ緑色」  
信岡 李伶  
(福山市立駅家西小学校)



「わたしの町はくわいの生産地」  
高田 麟  
(福山市立川口小学校)

## 第2回ひろしま農業農村整備の集い in 神石高原

令和元年11月24日(日)「神石高原町総合交流センターじんせきの里」において、第2回ひろしま農業農村整備の集いin神石高原が開催されました。県内の農業・農村の持続的展開に向け、地域の特長を活かした農業や経営の在り方について考えることをコンセプトとした集いで、昨年の子羅に続き2回目の取組です。

当日は、県立油木高校生徒の「テクノロジーを利用した地域活性化」など4題の研究発表の後、「中山間地域における地域農業の展望」と題し、パネルディスカッションが行われました。コーディネーターに広島大学大学院の細野賢治准教授を迎え、パネラーに地域を代表し(株)ヴィレッジホーム光末の光末幸司氏、陽光の里トマト団地営農組合の枝川隆氏、(株)森岡農園の森岡裕也氏、(同)ユキファーム前原の前原由臣氏がこれまで培ってこられた豊富な経験をもとに、農業や畜産業を通じた特色ある地方創生について、熱心な意見交換が行われました。

また、“中山間地域における地域農業”をテーマにした参議院議員宮崎雅夫氏の記念講演会では、従来の産業政策だけでなく、小規模農家や兼業農家の役割を再確認し地域農業を守っていくための地域政策をバランスよく実施することや災害に強い防災・減災対策をより一層推進していきたい旨を語られました。



宮崎雅夫氏記念講演



パネルディスカッションの様子

### 広島県土地改良事業団体連合会 令和元年度第2回理事会開催

令和2年1月14日(火)、広島県土地改良会館において令和元年度第2回理事会が開催されました。

開催にあたり、木山 耕三会長より「農業農村整備」を計画的に推進する必要性や、西日本豪雨災害による、農地・農業用施設の一刻も早い復旧・復興に向けた取り組みの必要性について挨拶されました。

その後、議事に入り、15議案についていずれも原案どおり承認されました。



### 広島県農業農村 整備事業推進協議会 令和元年度第2回役員会開催

令和2年1月14日(火)、広島県土地改良会館において令和元年度第2回役員会が開催されました。

開催にあたり、浜田 一義会長より「国土強靱化に向けた取り組みがより一層必要である」と挨拶された後、3議案について審議を行い、原案どおり承認されました。



### 季刊ひろしまの土地改良 第259号

令和2年1月31日

編集：ひろしま農業農村整備広報委員会  
発行：広島県土地改良事業団体連合会  
印刷：佐々木印刷株式会社

〒730-0017 広島市中区鉄砲町4-1 広島県土地改良会館

◆TEL (082) 502-7470

◆FAX (082) 502-7480

◆<http://www.hdn.or.jp>